

令和7年5月20日

食料科学委員会 畜産学分科会（第26期・第6回）議事録要旨（案）

1. 日時 令和7年5月12日（月）16:00～18:00
2. 場所 ビデオ会議
3. 出席 木村直子（二部会員）、栗田浩、内尾こずえ、笠嶋快周、後藤貴文、新村毅、平井静、松田二子、宮本庸平、安尾しのぶ（連携会員）、小澤壮行（連携会員（特任））

4. 議事

木村直子委員長が以下の進行を務めた。

（1）定足数の確認

出席人数が定足数を満たし、分科会は成立した。

（2）前回（第26期・第5回）の議事録案の承認

第26期・第5回分科会の議事録要旨案を確認後、承認された。

（3）審議事項

・公開シンポジウムの企画・実施

第133回日本畜産学会大会（岐阜大学、令和7年9月14日開催予定）での公開シンポジウム「持続可能な畜産を目指して～温暖化を防止する技術の最前線～」の開催準備について議論した。

・意思の表出の作成について

木村委員長および後藤委員より、意思の表出の申出書（案）についての説明があり、趣旨や骨子案について広く意見交換を行った。引き続き、後藤委員を中心として、各委員からの意見を収集して、趣旨や項目案について検討することとした。

・連携会員（特任）の推挙（追加議題）

電子メール審議による追加議題として、木村委員長より、連携会員（特任）（任期：令和8年9月まで）に菊地和弘氏（北里大学獣医学部教授、2025年より公益社団法人日本畜産学会理事長）を推挙することが諮られ、承認された（令和7年5月20日）。

（4）報告事項

・総会、幹事会、第二部会、食料科学委員会の活動報告

木村委員長より、各種情報が共有された（説明スライド 3ページ目より）。

・公開シンポジウムの企画・実施

笠嶋委員より、公開シンポジウム「日本在来馬は、どこから来て、どこへ行くのか？」（令和7年3月15日開催、オンライン）についての報告があった。参加者は224名であり、事後アンケートでは回答者136名のほぼ全てから好評価の回答を得たことが報告された。

木村委員長より、日本繁殖生物学会と共催で開催するSRD公開オンラインシンポジウム「続・動物の繁殖の研究ってこんなに広がるの!？」（令和7年5月17日開催予定、オンライン）について、事前登録中であることが報告され

た。

(5) その他

- ・ 次回の分科会の開催は9月から10月にかけて実施予定。

配信資料

5月12日事前配信：

0. 食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第6回）議事次第
00. 食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第6回）説明スライド
1. 食料科学委員会畜産学分科会委員名簿
2. 資料1：食料科学委員会畜産学分科会（第26期・第5回）議事録要旨（案）
3. 資料2：公開シンポジウム「持続可能な畜産を目指して～」趣意書
4. 資料3：公開シンポジウム「持続可能な畜産を目指して」ポスター案
5. 資料4：意思の表出_申出書たたき台（畜産学分科会）
6. 資料5：公開セミナー「日本在来馬はどこから来て、どこに行くのか？」事後報告
7. 資料6：公開セミナー「続・動物の繁殖の研究ってこんなに広がるの！」
8. 資料7：連携会員(特任)の推薦（菊地和弘氏）

参考) 公開セミナー「日本在来馬はどこから来て、どこに行くのか？」-事後アンケート結果-

参考) 声明「次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて」

本分科会の開催にあたって、日本学術会議事務局第二部担当、増田能伸さんが陪席された。

以上